



全農薬通報

No.250

平成19年 8月20日

***** も く じ *****

◎ 組合からのお知らせ

- ・ 安全協第33回常任幹事会及び賛助会員との打合せ会
 - ・平成19年度 安全協活動状況報告
 - ・平成20年度 運動方針・事業方針(案)
- ・ 松永^{おと}和^な紀^{のり}氏の講演概要及び資料
- ・ 2008年版農薬安全適正使用ガイドブック打合せ会
- ・ GAP手法についての意見交換会
- ・ 農薬ゼミナールの開催(農薬農薬工業会関西支部)

◎ 研修会及びシンポジウムの案内

- ・ 「緑の安全管理士」認定研修会及び支部大会開催予定
- ・ 第22回報農会シンポジウム「植物保護ハイビジョンー2007」

◎ 平成19年農薬年度5月期～6月期出荷概況

◎ 主な行事予定

全国農薬協同組合=東京都千代田区内神田3-3-4(全農薬ビル)〒101-0047/電話(03)3254-4171(代表)
FAX (03)3256-0980

回 覧							

組合からのお知らせ

1. 第33回全国農業安全指導者協議会常任幹事会及び賛助会員との打合せ

(1) 日時 平成19年7月13日(金)

常任幹事会 11:00～15:10

賛助会員との打合せ 15:15～17:00

(2) 場所 虎ノ門パストラル

(3) 議題 ① 平成19年度安全協事業実施状況ならびに事業費収支実績中間報告

② 安全用具の取扱いについて

③ 平成20年度事業計画ならびに収支予算(案)の検討

④ 支部活動にあたっての問題点、要望(各常任幹事より報告)

⑤ その他

(4) 出席者 松木理事長、羽隅副理事長、北濱会長、武田副会長

八木沢、長澤、皆川、中村、鈴木、田中、武市、海稻、田上、各常任幹事
事務局

松木理事長及び北濱会長の挨拶のあと武田副会長の司会で議事に入った。

(5) 賛助会員との打合せ及び基調講演

科学ライター松永^{わか}和紀さんの基調講演等。

○平成19年度安全協活動状況報告

・第29回安全協全国集会を開催

平成18年11月14日(火)13:30～17:00 虎ノ門パストラルに於いて、県幹事をはじめとする正会員、特別会員、賛助会員多数の参集を得て開催した。

また、特別講演として、農業工業会玉川寛治専務から「農業をめぐる最近の情勢と農業安全広報対策の考え方」と題してご講演を頂いた。

・第66回植物防疫研修会の実施

平成19年1月24日～30日 6泊7日の日程で東京代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに於いて、第66回植物防疫研修会が実施された。

受講者は、全農業組合員から37名、農業工業会会員30名、農林水産航空協会関係4名、計71名が修了した。

・平成 19 年度安全協地区会議を開催

平成19年度地区会議は、例年のとおり農政局単位で開催し、全農薬・安全協合同会議の中で農政局発表の時間を織り込んだ。農政局安全管理課から係官にご出席賜り、農薬の適性使用、IPM の普及・定着、マイナー作物対策、特定農薬の検討状況、ポジティブリスト制度の施行への対応等、植物防疫をめぐる諸問題について説明を頂いた。

本年度は農政局講演の他に農業ジャーナリスト・土門 剛氏、千葉大学・本山直樹教授等の特別講演を組み入れた。また、全農薬受発注システムについて説明がなされた。

・特別講演

北海道地区

「農薬を取り巻く諸問題」 (社)緑の安全推進協会 玉川 寛治 専務理事

東北地区、東海地区

「農薬に関する最近の話題から」 千葉大学園芸学部 本山 直樹教授

関東・甲信越地区、北陸地区、近畿地区、中国・四国地区

「農業に関する最近の話題から」 農業ジャーナリスト 土門 剛氏

九州地区

「飛散防止対策等について」 (社)日本植物防疫協会 藤田俊一氏

・平成 19 年度“一声運動”媒体品の作成

平成 19 年度 “一声運動”の媒体品として次の 3 品目を下記数量作成し、平成 19 年 2 月に各県安全協支部へ配布した。

希 積 表	17,000 枚
ポ ス タ ー	8,000 枚
※ 毒劇物譲受書	5,500 冊

※ プリグロックスL 安全対策協議会から協賛頂いた。

・「農薬ガイドブック」2007 年版の発行

平成 18 年 12 月 「農薬ガイドブック」 2007 年版 11,000 部 発行し、会員の協力を得て配布した。

・アンケートの実施

事業方針の一環として実施をはじめ今年で 6 年目を迎える。今回も、昨年と同様の設問で一般消費者を対象とした「農産物、農薬等に関するアンケート」と従来の「マスク、防除衣等の着用に関するアンケート」に「ポジティブリスト制度、毒物・劇物の取扱い等」を加えた農家を対象とした「農薬の安全使用・取扱いに関するアンケート」の 2 種類の調査を県幹事(1 県各 50 部)に依頼し実施した。

・農薬工業会作成農薬適正使用資料の配布

農薬工業会作成の農薬適正使用パンフレット「正しく使って大きな収穫」100,000部、ポスター5,000部を県幹事を通じ、小売店等に配布した(4月)。

・一般消費者向け農薬セミナーの開催(東海地区・愛知県支部)

開催日時:2月8日(木)13:00~16:15

会場:愛知県文化情報センター

農薬工業会中部支部との共同主催

千葉大 本山教授・残留農薬研究所 真板理事・JAあいち中央 大島胡瓜生産部会長

一般参加者:140名、安全協会員等関係者 45名

・教育安全委員会

①平成19年4月12日(木) 11:00~12:30 於:全農薬会議室

- ・今年度農薬セミナー開催報告(平成19年2月8日名古屋市で開催)
- ・地区会議の状況について
- ・アンケートの実施について
- ・農薬ガイドブック2008年版について
- ・今後の防除衣取り扱いについて
- ・その他

出席者 教育安全担当理事、事務局

・「緑の安全管理士」認定について

日本植物防疫協会主催の植物防疫研修会修了者全員が、(社)緑の安全推進協会の緑の安全管理士(農耕地分野)として認定された。

第65回修了者 22名

第66回修了者 36名 計58名 認定済 計920名(農薬安全コンサルタント)

・県活動報告

各常任幹事から担当地区の県別活動報告がなされた。

○[平成20年度運動方針・事業方針] (案)

運 動 方 針

○安全な農産物の確保を図るため、農薬取扱者に対して農薬使用基準に定められた使用時期、使用方法等の遵守徹底を推進する。

- 一般消費者に対し、農薬の安全性、有用性、ならびに正しい知識の普及に努める。
- 農薬の物流における安全性確保のための危機管理を徹底する。

事業方針

I 農薬安全推進運動の実施

- (1) 農薬の適正な使用の徹底
- (2) 農薬の飛散防止対策の徹底
- (3) “農薬安全一声運動”の実践
- (4) マスク、防除衣必着運動の推進
- (5) 農薬販売者に対する農薬安全管理の徹底
- (6) “ガイドブック”2008年版の編集・発行
- (7) 会報・資料、情報などの配布・提供

II 技術販売体制の強化

- (1) 普及展示圃の設置・充実
- (2) 総合防除の推進

III 「指導農薬」制の実施

- (1) 「指導農薬」講習会の開催
- (2) 販売店名簿の作成

IV 農薬安全使用確認運動の推進

- (1) 農薬の使用状況等生産履歴記帳運動の推進
- (2) 農薬安全・適正使用の確認
- (3) 安全用具使用実態調査の実施

V 一般消費者への農薬安全性広報活動の実施

- (1) 「はじめよう、ちかくから運動」の継続
- (2) 消費者を交えた農薬セミナーの開催
- (3) 農薬工業会(含む支部)消費者ゼミ開催に協力

VI 農薬の物流における安全性確保の徹底

VII 空容器及び残農薬・廃棄農薬適正処理の推進

○ 賛助会員との打合せ及び基調講演

北濱会長の挨拶の後、武市、田中副会長より、常任幹事会の報告がなされた。

続いて、「踊る【食の安全】農薬から見える日本の食卓」と題して科学ライター松永^{わか}和紀さんの講演に入った(概要・資料は9頁に掲載)。

講演終了後、農林水産省消費安全局農薬対策室の鈴木伸男室長より、「最近の農薬を取り巻く情勢について」説明を兼ね、ご挨拶をいただいた。

会議終了後、パーティーに移り、今回も和気あいあいの雰囲気の中、賛助会員、安全協幹事等、約 80 名の盛大な交流会となった。

2. 第92回植防団体総務連絡会

- (1) 日 時 平成 19 年 6 月 28 日 (木) 16:00～17:00
- (2) 場 所 日本植物防疫協会 3F 会議室
- (3) 議 題 ① 事務引継ぎ・会計報告
② 各団体行事予定(平成 19 年 7 月～平成 20 年 6 月)
③ 情報交換
④ その他
- (4) 出席者 弓削参事 宮坂技術顧問

3. 2008年版農薬安全適正使用ガイドブック編集打合せ会

- (1) 日 時 平成19年7月5日(木) 15:30～17:00
- (2) 場 所 全農薬会議室
- (3) 議 題 ① 編集日程について
② 編集項目及び体裁について
③ その他
- (4) 出席者 上田ワードプロセス 真田専務、弓削、宮坂、野口各事務局員

※ 7月13日の安全協常任幹事会において、ガイドブック 2008 年版は、平成 19 年 7 月末迄に新規登録及び適用拡大登録された農薬を収録、平成 19 年 12 月上旬発刊を決定しました。(昨年と同じ)

4. GAP 手法についての意見交換会

- (1) 日 時 平成19年7月17日(火) 14:00～16:30
- (2) 場 所 関東農政局
- (3) 議 題 別添 議事次第の通り

当組合から宮坂技術顧問が出席(概要は 15 頁に掲載。)

5. 植物防疫研修委員会

- (1) 日 時 平成19年7月25日(水) 10:00～12:30
- (2) 場 所 日本植物防疫協会会議室
- (3) 議 題 ① 第67回植物防疫研修会(10月開催)について
- ア. 開催日程
 - イ. 時間割、講師関係
 - ウ. 試験問題関係
 - エ. その他
- ② その他今後の研修会の在り方
- (4) 出席者 宮坂技術顧問

6. 「緑の安全管理士」認定研修会及び支部大会開催予定

- (1) 平成19年度資格認定研修会
- (社)緑の安全推進協会が主催する研修会が実施されます。(21頁に掲載)。
- 受講される方は申込用紙が必要ですので、(社)緑の安全推進協会
(TEL 03-5209-2511、 FAX 03-5209-2513)にご連絡ください。
- (2) 平成19年度「緑の安全管理士」支部大会
- 下記のとおり開催が予定されています。

平成19年度 緑の安全管理士 支部大会開催予定

支 部	開 催 日	会 場
北 海 道	19年 11月27日(火) 12:30～15:30	札幌ガーデンパレス 札幌市中央区北1条西6丁目
関東・甲信越 ①	11月22日(木) 13:00～17:00	北とびあ(つつじホール) 東京都北区王子 1-11-1
関東・甲信越 ②	11月29日(木) 13:00～17:00	北とびあ(つつじホール) 東京都北区王子 1-11-1
東 北	12月4日(火) 13:00～17:00	ホテル白萩(2階一錦) 仙台市青葉区錦町 2-2-19
東海・北陸	12月11日(火) 12:30～16:30	アイリス愛知(コスモス) 名古屋市中区丸の内 2-5-10
九州・沖縄	20年 2月13日(水) 13:00～17:00	天神クリスタルビル(3階大ホール) 福岡市中央区天神 4-6-7

中国・四国	2月14日(木) 13:00~17:00	メルパルク岡山(泰平1の間) 岡山市桑田町 1-13
近畿	2月15日(金) 12:00~17:00	新梅田研修センター(3F305ホール) 大阪市福島区福島 6-22-20

7. シンポジウムの案内

報農会より、シンポジウムの開催通知がありましたので22頁に掲載します。

8. 平成19年度植物防疫地区協議会日程

平成19年度植物防疫地区協議会の日程について、主催者である(社)日本植物防疫協会から下記のとおり通知がありました。

平成19年植物防疫地区協議会日程

平成19年8月20日現在

地区名	開催地	開催月日
北海道・東北	山形県	11月15日(木)~16日(金) 山形市「メトロポリタン山形」
関東	埼玉県	11月13日(火) 「関東農政局会議室」
北陸	石川県	11月21日(水)~22日(木) 「北陸農政局会議室」
東海・近畿	京都府	11月19日(月)~20日(火) 京都市(ルビノ京都堀川)
中国・四国	広島県	11月8日(木)~9日(金) 広島市「鯉城会館」
九州・沖縄	鹿児島県	11月1日(木)~2日(金) 「鹿児島県市町村自治会館」

9. 組合員異動

[代表者変更]

- 株式会社 鶴田利七商店 (徳島県)

新:鶴田 新

旧:分木 立生

- 九州みのる株式会社 (熊本県)

新:田崎 幸治

旧:宮野 清光

……………『踊る「食の安全」～農薬から見える日本の食卓』……………

安全協主催の恒例の講演会が都内の虎ノ門パストラルにおいて、科学ライターの松永^{わか}和紀氏をお招きし、『踊る「食の安全」～農薬から見える日本の食卓』のテーマで行われた。

講演は、●農薬、食品添加物、健康食品等、混乱を極める食情報。 ●メディア・バイアスとメディアの責任。 ●科学者～消費者までのそれぞれの責任。 ●これからのリスクコミュニケーションのためのいくつかの提案。についてで、今日の混乱を極める食情報の中であって、科学者から消費者までのそれぞれの責任、これからのリスクコミュニケーションのあり方等を、具体的な事例を踏まえ、解りやすく講演された。

松永さんは、農薬を巡る報道には、誤解がいっぱい。マスコミは100ある事実の中から一部だけをピックアップして伝えるのが今の報道の現状。我々はメディアとはそういうものだとして理解しなければいけない。また、それに対応するため、これまでのような一方的な受身から脱出し、学習し、逆に情報を発信することが必要と言ひ、地道で多角的な情報提供の継続がもっとも重要であるとした。

さらに、農薬に対する農家の誤解は、消費者に輪をかけて深刻で、誤解が誤解を生み、いわゆる誤解の連鎖があると言う。農薬関係者は、これまで、消費者やマスコミ対応を熱心に行ってきたが、一番肝心の農業者に対して多様な情報を提供してきたかと、課題を投げかけられた。

最後に、農薬を理解してもらうには、早道はなく、今まで疎かにしていた農業者への指導は、毅然とし、地道で多角的な情報提供を、また、マスコミ等の間違い報道には抗議を！が、農薬を正當に評価される道であると結ばれた。

(文責:全農薬事務局 宮坂)

踊る「食の安全」 —農業から見える日本の食卓

2007年7月13日

松永 和紀

まつなが わき
全国農業安全指導者協議会打合せ会
於: 虎ノ門パストラル

今日の話のあらまし

- 混乱を極める食情報
農業、食品添加物...
- メディア・バイアスとメディアの責任
- 科学者、行政、企業、消費者...の責任
- これからのリスクコミュニケーションのためのいくつかの提案

食の問題は多様化

考えなくてはならないことがいっぱい!

旧型不安

食中毒
残留農薬
食品添加物.....

新型不安

BSE/遺伝子組み換え/アレル
ギー/カドミウム/水銀/アクリ
ルアミド/トランス脂肪酸/健康
食品/カビ毒/硝酸性窒素.....

- 項目が非常に多い
- 新しく発生したリスク、増大傾向にあるリスクは実は少ない
- 食の安全確保と不正の混同
- 情報の流れが遅すぎる
- メディアバイアス
- 氾濫する情報を咀嚼できず、雑呑みに → 漠然とした不安

もう一つの真理

安井至・国連大学副学長

「現代の日本人は、自然淘汰をやめてしまっ
た。生物ではなく人工物なのかもしれない」

ほとんどの消費者は気づいていない

リスクのものさし

「リスクのものさし、安全・安心指標はありか?」
(中河内一也、NHKブックスより)

- 限られた予算、人員、機材しかない以上、対策には優先順位を考える必要がある
- しかし、メディアは食のリスクの「大きさ」を正確に伝えているか?

• 人々は理解しているか?

10万人あたりの年間死亡者概数

がん	250
心疾患(高血圧性を除く)	127
脳血管疾患	102
喫煙(現状)	80
喫煙(1000円)	30
自殺	24
糖尿病	10
交通事故	9.0
入浴中の水死	2.6
火事	1.7
食中毒(1980年)	0.27
自然災害	0.1
食中毒(1980年)	0.017
食中毒(2000年)	0.004
落雷	0.002

農水省が決めた優先順位—消費者は全く知らない

- 優先的にリスク管理を行うべき有害化学物質リスト

リスク管理を継続するため、直ちに、含有量変動調査、リスク低減技術の開発等を行う必要がある有害要因	ヒ素、カドミウム、メチル水銀、ダイオキシン類(コプラナーPCB含む)、アフラトキシン、デオキシニバレンロール(DON)、ニバレンロール(NV)、オクテトキシンA、パクリン、アクリルアミド、多環芳香族炭化水素(PAHs)、クロロプロパニール類(3-MCPD、1,2-DCP)
リスク管理を継続する必要があるかを決定するため、発芽率等の毒性や含有の可能性等の関連情報を収集する必要がある有害要因、または既にリスク管理措置を実施している有害要因	鉛、ポリプロピレンフェニルエーテル(PBDE)、フモニン、トコキシン、H ₂ -トコキシン、ゼアレノン、硝酸性窒素、病原性真菌、下痢性真菌、残留農薬、フラン、トランス脂肪

- 優先的にリスク管理を行うべき有害微生物リスト

リスク管理を実施するため、直ちに汚染源経路等の調査及びリスク管理措置を検討する必要がある有害要因	カンピロバクター、サルモネラ、腸炎ブドウ球菌、腸管出血性大腸菌、ボツリヌス菌
リスク管理を実施する必要があるが、リスク管理措置を検討するための基礎情報が不足しているため、それを収集する必要がある有害要因	ノロウイルス リステリア

誤解がいっぱい・農薬編

イメージ	現実
農薬は危険	安全性評価の仕組みは非常に厳しい
すべての生き物を殺してしまう	選択毒性
白い粉がもうもうと.....	殺剤、育苗箱施用、ジャンボ剤...
農家は農薬を使いたがる	きつい、窮屈、嫌われるの3K。高価だし、使いたくない
環境破壊	生き物への影響、分解性などかなり厳しく調べられている
農薬によいところなんてない	省力化、安定生産に大きく貢献

もちろん、農薬には問題点もまだまだあるが...

農家と消費者の間には暗くて深い川がある



群馬県提供

虫食いのないきれいな野菜じゃなきゃイヤ！でも、農薬はイヤ！

ある程度は農薬も使わなきゃ、きれいな野菜なんてできないよ。私たちは消費者のために、農薬を吸い込んだり皮膚につくの我慢して使っているのに...

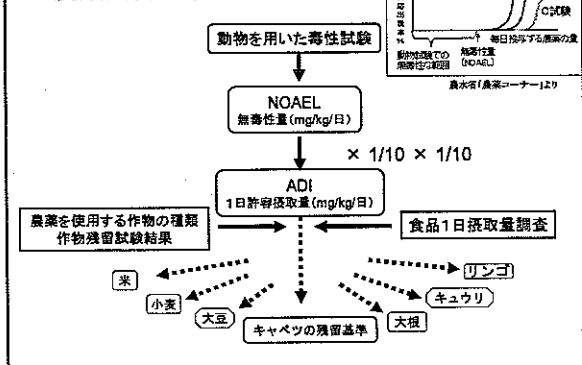
農薬登録申請時に必要な毒性に関する試験成績

急性毒性を調べる試験	急性経口毒性試験、急性経皮毒性試験、急性吸入毒性試験、皮膚刺激性試験、眼刺激性試験、皮膚腐食性試験、急性神経毒性試験、急性遺伝毒性試験
中長期的影響を調べる試験	90日間反復経口投与毒性試験、21日間反復経皮投与毒性試験、90日間反復吸入毒性試験、反復経口投与神経毒性試験、28日間反復投与選択性神経毒性試験、1年間反復経口投与毒性試験、発がん性試験、繁殖毒性試験、備考形毒性試験、変異原性に関する試験
急性中毒症の処置を考える上で有益な情報を得る試験	生体蓄積への影響に関する試験
動植物体内での農薬の分解経路と分解物の構造等の情報を把握する試験	動物体内動態に関する試験、植物体内動態に関する試験
環境中での影響をみる試験	土壌中動態に関する試験、水中動態に関する試験、水産動物への影響に関する試験、水産動物以外の有用生物への影響に関する試験、有効成分の性状・安定性・分解性等に関する試験、水質汚濁性に関する試験、環境中半減速度に関する試験

農家による厳しい使用管理

- 適正な農薬を選択
- 用法・用量、使用禁止期間など基準の厳守
- 記帳

農薬残留基準の決め方



2002年度残留農薬検査結果(2006年4月、厚労省まとめ)

	国産・輸入	検査数	検出数		基準を超える件数	
			件	%	件	%
食品衛生法に基づく残留基準が設定されているもの	国産品	118,537	703	0.59	27	0.02
	輸入品	263,344	1,231	0.47	83	0.03
	合計	381,881	1,934	0.51	110	0.03
食品衛生法に基づく残留基準が設定されていないもの	国産品	79,489	165	0.21		
	輸入品	449,839	1,183	0.26		
	合計	529,328	1,348	0.25		
総合計	国産品	198,026	868	0.44		
	輸入品	712,983	2,414	0.34		
	合計	910,989	3,282	0.36		

注：1検体につき50農薬の残留量を調べた場合には、検査数50件、100農薬を調べた場合には検査数100件と数える

無農薬栽培は安全か？

- ・ 農薬を使用しても、できた作物には残留が認められない場合が多い
 - ・ 無農薬栽培したリンゴは、慣行栽培のリンゴに比べて、アレルギーを引き起こす物質が多いという実験結果がある
(森山通敏・近畿大講師ら、日本農芸化学会2005年、2008年定期大会で発表)
- =植物自身が、外敵やストレスと闘うために、体内で防御物質を作っている。それは人に有害かもしれない、有益かもしれない

有害な場合⇒リスクのトレードオフ

植物中には”神秘”の化学物質がいっぱい

植物が外敵やストレスなどに対抗するために作り出している物質=ファイトケミカル

- ◆ 人にとって有益なもの
例: イソフラボン、ポリフェノール、カテキン
- ◆ 人にとって有害なもの
例: ソラニン、梅の青い実に含まれる青酸配糖体

多くの物質が、有益にも有害にもなりうる
例: イソフラボンの過剰摂取の害、カフェイン、モルヒネ
有名なエイムズ博士「食品中に含まれる農薬様物質の99.99%は自然由来、ナチュラルなもの」

EW Ames, M. Ph.D. and L.S. Gold "Dietary Pesticides (99.99% Are Natural)"
Proceedings of the National Academy of Sciences, Vol 87, 7277-7281, 1990

私は農薬についてこう考える

- ・ 農薬にはよい面、悪い面があり、多様な角度からの検討が必要
- ・ 適正使用が絶対の基準
- ・ 現在の食品の残留農薬濃度は、十分に安心できる低さ
- ・ 「売するための減農薬」ではなく、農家の健康のため、環境のため、孫や子も農薬を続けるための減農薬
- ・ 農薬は、たくさんある防除策のうちでも、とっておきの手段。依存せず、否定せず、大切に使うべき
- ・ 「残留基準超えの食品も食べる」という議論を始めた

食品報道の問題点

- ・ 記者の専門知識が足りない、調べない
- ・ センセーショナルが最優先
- ・ 「悪いニュース」が「いいニュース」警鐘報道をしたがる(奥武則・法政大学教授)
- ・ リスクとハザードの区別を、故意にあるいは無意識にしない(リスク=ハザード×曝露量)
- ・ ゼロリスクはあり得ないことを伝えない
- ・ 取材源が偏っている

食品報道の問題点・続

- ・ 「行政、企業は悪、市民団体は善」という思い込み
- ・ ナンチャッテ学者
- ・ コスト意識の不足

100ある事実の中から、一部だけピックアップして伝えるのが「報道」というもの。
メディア・バイアス

特定のだれかに都合の良い情報だけが、発信され続け拡大し、やがて”真実”になって行く

↓
農薬、食品添加物、健康食品...
この状況にノーを!

「受け身」を脱し、学び、情報を発信

<食の読み書きそろばん力>をつけよう!

しかし.....メディアだけの責任か？

農業に関する多様な情報を、科学者、行政はこれまで農家、消費者に提供してきたか？

農家の誤解は、消費者に輪をかけて深刻！
誤解の連鎖

農業業界の情報公開の努力

- 農業工業会
- 農業企業
- 農水省
- 日本植物防疫協会

生協、企業は変わり始めている

- コープこうべ（兵庫県）は1/10ルールを撤廃
- エフコープ（福岡県）は農業自主基準を見直し、リスク管理に
- 企業

誤解がいっぱい・食品添加物編

氾濫するメチャクチャ報道

- 食品添加物の定義、条件、効果等を理解していない
- 毒性学を無視
- 古い情報の蒸し返し
- 体験談の説得力
- 「風が吹けば桶屋が儲かる」式理論
- 味、食文化を守ることと加工食品批判との混同

なぜ、ここまでひどい誤報が...

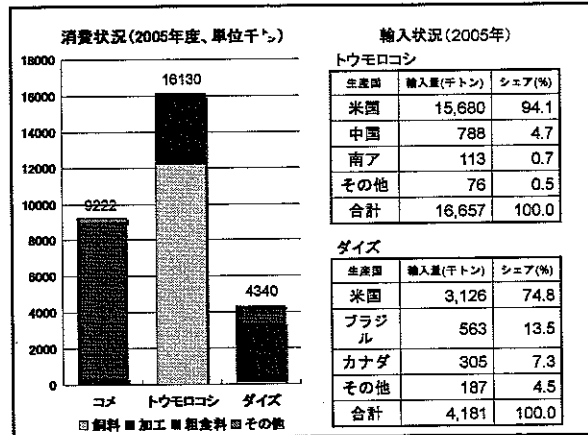
- 根拠となる研究が既に否定されているか、研究結果の誤った解釈
- 1冊のベストセラーをきっかけに、メディアが間違っただけを流す
- 消費者、報道関係者が、自分の身に引きつけて考え、思いこみを増幅させやすい
- 身近なものなので、メディアにとっては視聴率アップ、部数増に結びつきやすく、報道したが
- 無添加商法
- 業界、企業、専門家が明確に否定しない
- 適正な情報発信も不足

消費者にとって不幸なこと

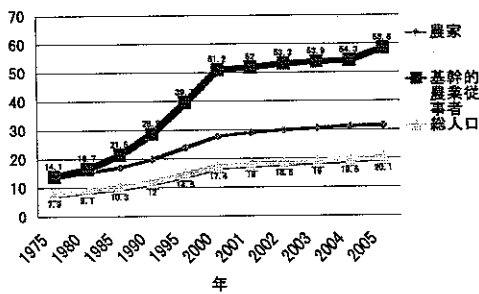
- 「保存料無添加」の横行
- 食品が捨てられる
- 必要のない健康不安にさいなまれる
- マスメディアの”信用”が、食品業界では地に墜ちている
- リスクが上がる？

本当に心配しなければならないこと

- これほどぜいたくで安全な食生活を送っている国は他にないだろう
- 最大の食のリスクは食糧自給率の低さ
- 農家の高齢化が、すべてに暗い影を落としている
- 養分循環＝このまま、食品、飼料の輸入を続けていたら、日本は家畜糞尿のたまり場になってしまう
- 環境保全策との連携



人口における高齢者(65歳以上)の割合の推移



- 消費者理解の早道はない
- 農家に毅然とした指導を
- 地道で多角的な情報提供を
- 間違い報道には抗議を

『「食品報道」のウソを見破るー食卓の安全学』(家の光協会)
 『闘る「食の安全」ー農業から見える日本の食卓』(家の光協会)
 『メディア・バイアスーあやしい健康情報とニセ科学』(光文社新書)

日経BP社FoodScienceで「松永和紀のAgriLab」を連載中
<http://biotech.nikkeibp.co.jp/#/>

ご意見は、postmaster@waklab.org へ

安全な農産物を食卓へ (GAP手法についての意見交換会) 議事次第

平成19年7月17日(火)

14:00~16:30

於:さいたま新都心合同庁舎1号館

1. 開 会

2. 挨拶

農林水産省関東農政局消費・安全部長

鈴木 栄次

3. GAP手法についての情報提供

(1) 「GAP手法(農業生産工程管理手法)の導入・推進について」

農林水産省消費・安全局農産安全管理課課長補佐

佐藤 京子

(2) 「GAP手法の取り組み状況について」

株式会社関東地区昔がえりの会代表取締役社長

小暮 郁夫氏

(3) 「GAP手法の取り組み状況について」

いばらき農産物流通研究会事務局長

玉造 洋祐氏

(4) 「食品事業者から見たGAP手法について」

東京デリカフーズ株式会社常務取締役

大崎 善保氏

— 休憩 10分 —

4. パネルディスカッション及び意見交換

【コーディネーター】

農林水産省関東農政局消費・安全部消費生活課長

奈良 百合子

【パネリスト】

生活協同組合さいたまコープ理事

新井 里美氏

株式会社関東地区昔がえりの会代表取締役社長

小暮 郁夫氏

いばらき農産物流通研究会事務局長

玉造 洋祐氏

東京デリカフーズ株式会社常務取締役

大崎 善保氏

農林水産省消費・安全局農産安全管理課課長補佐

佐藤 京子

5. 閉 会

<配付資料>

資料1 「GAP手法(農業生産工程管理手法)の導入・推進について」

資料2 「食と命の安全・安心への取り組み」

資料3 「信頼される生産者グループを目指して」

資料4 「食品事業者から見たGAP」

<参考配布>

- ・「さあ、始めましょう!農作業の工程管理(GAP)のすすめ」(パンフレット)
- ・基礎GAP(施設野菜)[生産者用]
- ・食品安全エクспレス
- ・食事バランスガイド(クリアファイル)
- ・食料産業クラスター(パンフレット)
- ・関東食料産業・先端技術クラスター連絡協議会会員募集
- ・農業への参入で企業の可能性を広げる(パンフレット)
- ・野菜の「もったいない」を出さないために。(パンフレット)
- ・関東農政局消費者の部屋特別展示(“やさい”と“くだもの”の驚きの機能)

農林水産省 GAP 手法の普及開始

農林水産省は「GAP 手法導入・推進会議」を立ち上げ、日本における GAP 手法を普及し、消費者の農産物の安全や品質に対する信頼確保を目指します。

GAP とは、Good Agricultural Practice の略称で、食品の安全の確保、品質の改善、環境保全などのために、農業生産現場における点検項目を決定し、実践・記録するという「農業生産工程管理手法」のことである。海外の農作物については、ヨーロッパにおける EUREPGAP(ユーレップギャップ)を中心として、全世界において GAP の取組が普及している。

日本でも GAP 手法の導入・推進を図るために、農林水産省は学識経験者、流通団体、消費者団体等の関係者を参集した「GAP 手法の導入・推進会議」の第 1 回を 6 月 15 日に開催した。

挨拶で山本農林水産副大臣は「国民の食の安全に対するニーズが高まっており、諸外国への農産物輸出においても品質管理証明が求められることが多く、GAP の導入は重要。GAP 手法を普及するには民間の立場に立った柔軟な仕組みを作ることが重要である」と述べた。議長には明治大学大学院グローバルビジネス研究科教授の上原征彦氏を選任された。

GAP 手法に係る国の取り組み方針の説明の後、栃木県農政部、全国農業協同組合、日本生活協同組合による GAP 手法の取り組みと日本 GAP 協会による認証についての報告に続き、意見交換が行われた。

GAP 手法の導入について、国としては、工程管理に対する意識の高い産地を育むところまでは尽力するが、EUREPGAP(ユーレップギャップ)に相当するレベルまでの引き上げは個々の産地や生産者の自主的な取組で行うべきと考えているという。また、生産履歴記帳は GAP 手法の一部であり、GAP の導入によって生産履歴記帳や農産物の残留農薬検査等が不要になるわけではないと述べた。GAP 手法の導入による生産者の負担増については、GAP 手法に取り組む現場の声が紹介された。「負担は増えるが、GAP 手法は必要」、「自分のために行っており、自己負担は当然」など、GAP 手法が定着している産地では前向きにとらえられている。GAP 手法を普及する上で、生産者に必要性を理解させること、生産・流通・消費が連携すること、消費者側の理解を得ることが大切という意見もあった。

今後の推進会議は、半年に 1 回のペースで開催され、次回は 11 月の予定。会議の間には意見交換会や勉強会、現地検討会を行い、意見や情報などを次の会議にフィードバックし効率的に進めていくことが提案された。

農林水産省 GAP 手法導入・推進会議 (第 1 回)の様子は、下記の HP 上で公開されていますので参考にして下さい。

http://www.maff.go.jp/syohi_anzen/gap/index.htm

GAP手法 (農業生産工程管理手法) の導入・推進について

平成19年7月17日
農林水産省

本日の内容

・GAPに親しんでもらう

- GAPとは
- 国際的な動き
- 農林水産省の取組

GAPの目的

OGAP(Good Agricultural Practice)

農業者自らが

- ① 食品(農産物)の安全確保
- ② 品質の改善
- ③ 環境の保全

の様々な目的達成のために実践する
「農業生産工程管理手法」

①計画(Plan)
農作業を計画
チェックリスト(点検項目)

②実践(Do)
チェックリストの確認
農作業の記録

④見直し・改善(Action)
点検項目の見直し
次回の作付け

③点検・評価(Check)
記録の点検・評価
改善点

(サイクルの繰り返し) 4 17

有機農業

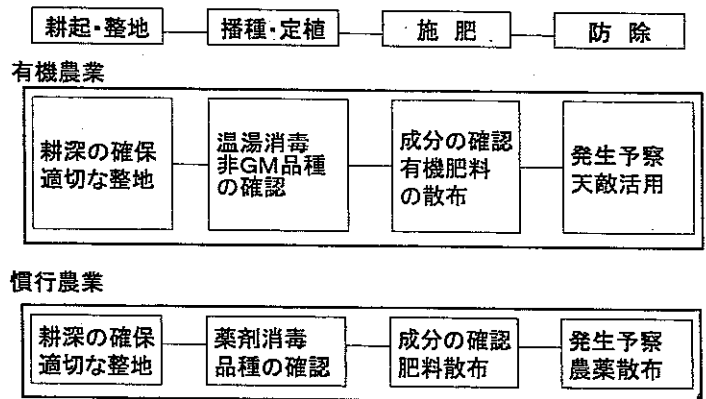
土作りを基本として、化学肥料、
化学合成農薬を使用しない農
法の総称

GAP手法

農業生産を工程管理によりマ
ネージメントする手法

どんな農法にも
適用できます

有機農業における実践のイメージ



GAPは何を目指すのか

消費者・食品事業者の信頼確保

農作業の各工程を記録・点検「工程管理」

- ・農産物の安全確保
- ・農産物の品質向上
- ・環境の保全

国際的な動き

民間における取組例 EUREPGAP(ユーレップギャップ)

- 民間の小売業組合が中心となり作成、運営
小売業の状況
英国では上位10社の占拠率60%以上
- 各種法令(食品安全、環境保全、農作業安全)の遵守等、全ての作業における留意点
→ 重要管理点として作成・公表
{ 青果物、コーヒー、紅茶
畜産物、養殖魚、観葉植物 }

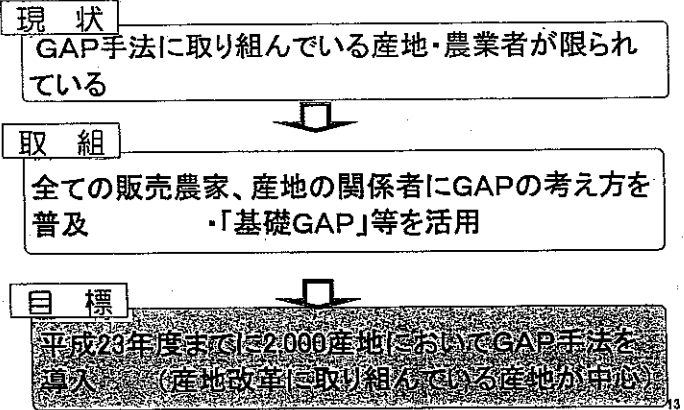
EUREPGAP(1)

- 農産物の取引に当たって EUREPGAPへの取組、認証を求めるか否かは、食品事業者個々の判断
例) テスコ: EU内の大手量販店
国によって要求度が異なる(英国では認証を要求、チェコでは認証を推奨)
- ヨーロッパ以外の国、例えば中国でも、EUREPGAPを基に作成した「チャイナGAP」を実践

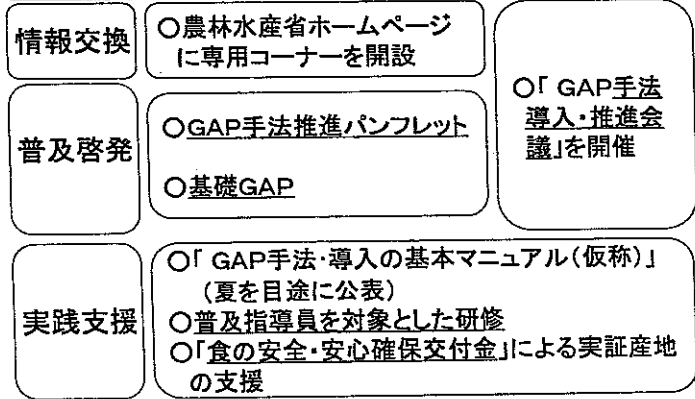
EUREPGAP(2)

- 認証件数(平成18年12月現在) 約5.9万件(農家・農家グループ)
EU域内 約47,000件
EU域外 約13,000件
- | | | | |
|------------|---------|------------|---------|
| トルコ | 約3,200件 | チリ | 約1,100件 |
| 南ア | 約1,400件 | インド | 約950件 |
| NZ、タイ、ブラジル | | } | |
| 中国、エジプト | | } 200~500件 | |

農林水産省の取組方針



農林水産省のGAP手法の導入・推進に向けた施策(平成19年度)

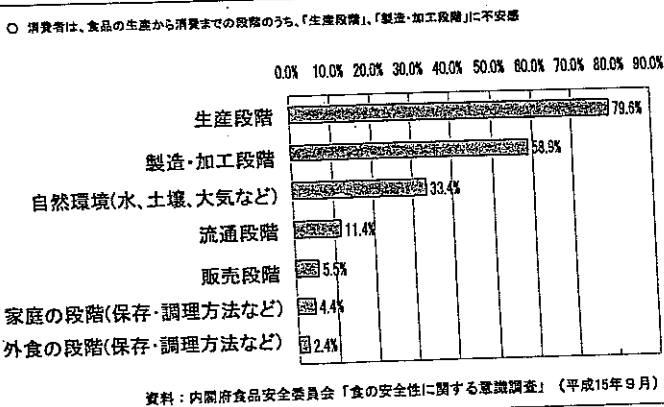


農林水産省の取組

基礎GAPの構成

- チェックシート
 - (1) 準備
 - (2) 育苗
 - (3) 栽培管理
 - (4) 収穫・調整・出荷
 - (5) 全般
- 工程毎に点検項目を色別整理
 - 赤色 法令遵守、環境の保全
 - 青色 食品(農産物)の安全確保
 - 無色 奨励項目

食品の安全に関する国民の高い関心



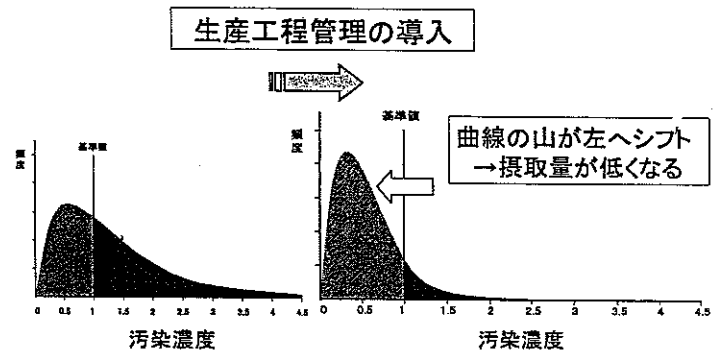
GAP手法・導入推進会議

- 目的: 関係者の相互理解、意見交換
- 委員: 生産者 全農、全中、(社)日本農業法人協会
流通 日本チェーンストア協会
日本スーパーマーケット協会
(社)全国中央市場青果卸売協会
消費者、学識経験者 等
- 会議資料、議事録は農水省HPで公表
http://www.maff.go.jp/syohi_anzen/gap/page4.htm

普及指導員を対象とした研修会

- 産地でGAP手法の指導を行うには、営農技術を有する普及指導員が最適
- GAP手法については、年2回予定
 - 平成19年度は6月、12月(参加者募集中)
 - 定員50名
 - 3泊4日
 - 茨城県:農林水産省生活技術研修館
 - 高度な内容のGAP手法、現地調査

生産工程管理による安全な農産物の生産



ブロック別意見交換会

- 全国の農政局等のブロックごとに、GAP手法をテーマとして実施
 - 7月17日から関東を皮切りに順次開催
- 内容
- 第1部 GAP手法の説明、実践者等の発表
 - 第2部 パネルディスカッション
- 参加はオープン

食の安全・安心確保交付金

(3戸以上の営農集団等が対象)

- すでに取り組んでいる先進地調査の実施
- 資料(書籍等)の購入
- 研修会参加
- 研修会の開催
- 記帳用チェックリスト作成・配布
- 土壌、水質、残留農薬、病原微生物等の分析費用
- 実証試験ほ場の設置・運営

平成19年度決定額:2,513百万円の内数

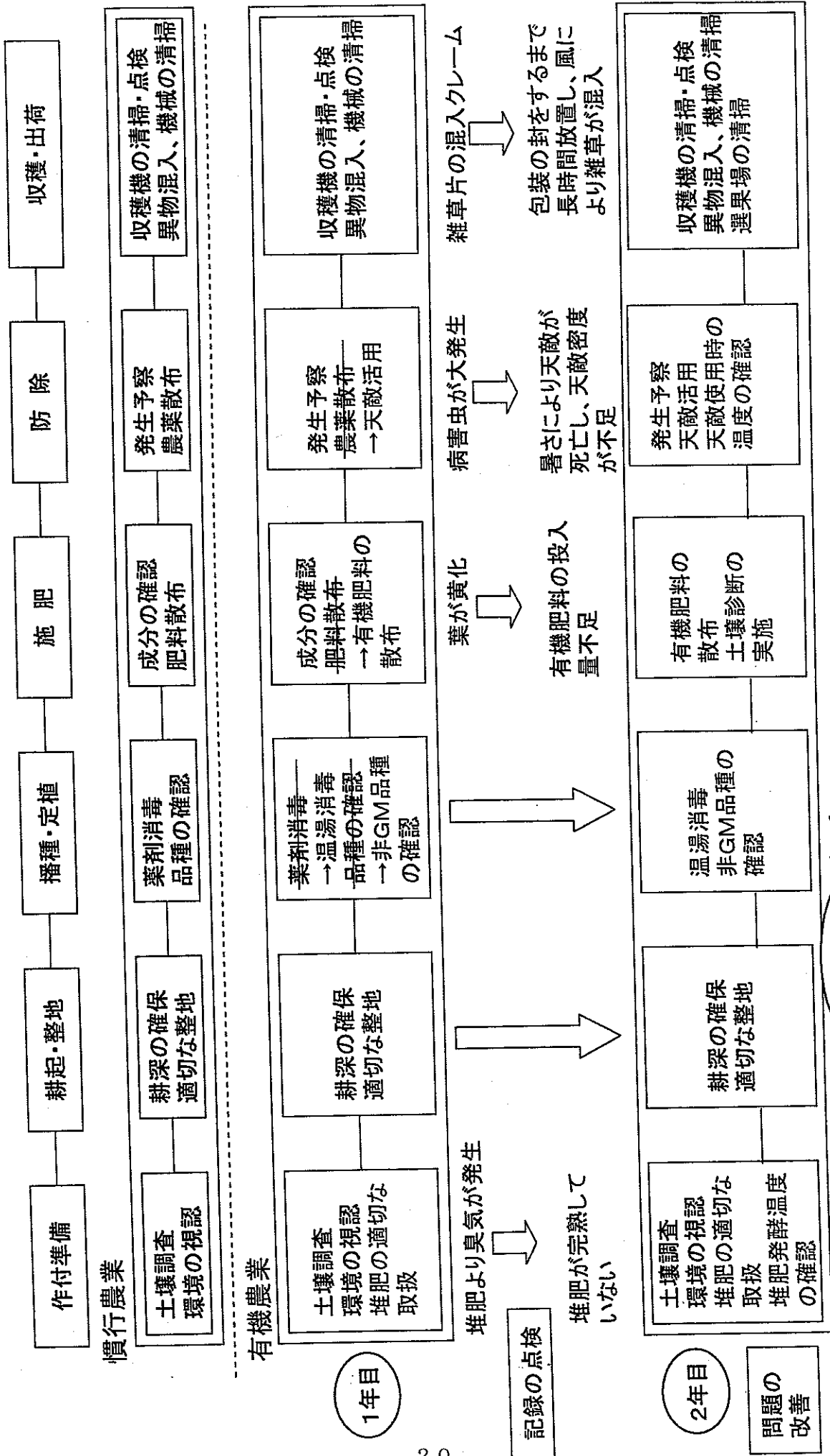
(2,702百万円の内数)

まとめ

GAP手法に取り組むメリット

- 経営改善
- 品質向上
- 就農促進
- 事業者連携
- 安全確保(汚染低減)

有機農業におけるGAP手法実践のイメージ



GAP手法により、農作業の改善点を見出し、次期作に繋げることで、有機農業の目的を効果的に達成！！

「緑の安全管理士」認定研修会実施案内

1. 「緑の安全管理士」認定研修会受講申込方法

- (1) 申込方法： 同封の「緑の安全管理士」認定研修会受講申込書に必要事項を記入し、写真2枚を添付して、(うち1枚は申込書に貼付) 当協会あてに郵送して下さい。
〒101-0047 東京都千代田区内神田3-3-4 全農薬ビル5階
(社) 緑の安全推進協会 (Tel 03-5209-2511)
- (2) 締切日： 平成19年10月10日(水) 但し、定員(100人) になり次第締切
- (3) 受講通知： 受講申込書を受付後、①「受講票」、②「振込取扱票」(「緑の安全管理士」認定研修会受講料払込用紙) 及び③「緑の安全管理士」認定研修会研修科目時間割を郵送致します。

2. 受講料

- (1) 受講料： 1人当たり39,900円(消費税込) テキスト代・昼食代(3日間) を含む。
- (2) 受講料の振込： 受講料39,900円/1人を「振込取扱票」(「緑の安全管理士」認定研修会受講料払込用紙) により、最寄りの郵便局窓口から振り込んで下さい。
(* 振込料金は、当協会が負担します。)
- (3) 受講者名の記入： 「振込取扱票」の通信欄に受講者名を必ず記入して下さい。

3. 「緑の安全管理士」認定研修会実施概要

- (1) 実施期日： 平成19年10月17日(水) 9:30 開講
～19日(金) 16:15 閉講、認定試験終了
- (2) 実施場所： 共栄火災海上保険株式会社(8F研修室) 東京都港区新橋1-18-6
(アクセス) JR山の手線 新橋駅下車 徒歩3分(「受講票」裏の案内図参照)
- (3) 研修の科目と試験の実施
 - ① 研修科目： 別紙「認定研修カリキュラム」に準拠
 - ② 認定試験： 時間：2時間 研修の終了直後実施(10月19日(金) 14:15～16:15)
出題数：四者択一50問 (内訳—必須問題30問と選択問題20問のうち10問解答 計40問について解答)
 - ③ 研修と認定試験の時間割： 後日送付する認定研修会「研修科目時間割」に準拠
 - ④ テキスト： 当日研修会場でお渡し致します。

4. 注意事項

- (1) 受付： 当日受付に「受講票」を提示して、受講番号と同じ番号の席にお座り下さい。
- (2) 受講取消と受講料の取扱い： 開講日7日前(開講日と同じ曜日) までに取消の場合は、受講料の90%を返却します。それ以外の場合には、返却いたしません。
- (4) 交通費と宿泊費： 交通費と宿泊費は、各自で負担願います。また、宿は各自で手配して下さい。
- (5) 駐車場： 研修会場には特に用意できませんので、公共交通機関でお越し下さい。
- (5) 研修会当日持参すべきもの： 受講票、筆記用具
- (6) 電話等の連絡： 研修会場には電話が通じませんので、用事がある場合には、(社)緑の安全推進協会(電話：03-5209-2511) あてに連絡して下さい。

5. 試験結果の通知並びに認定証書及び認定証の交付

認定試験実施後、当協会の認定審査会の審議を経て可否を判定し、結果を速やかに通知書をもって受講者に連絡します。合格者には、後日認定証書及び認定証を郵送で交付します。

以上

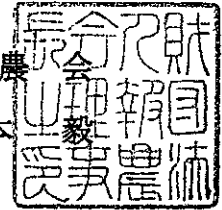


平成19年7月13日

全国農業協同組合

理事長 松木三男様

財団法人 報農
理事長 岩本



第22回報農会シンポジウム開催のご案内

(広報誌への掲載依頼について)

当会事業につきましては、常々多大のご協力を賜り誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、昨年度に引き続き第22回報農会シンポジウム『植物保護ハイビジョン—2007』を別添の通り、9月28日(金)に開催することに致しました。

つきましては、広く関係者にお知らせしたく、出来ましたら貴機関誌・新聞・雑誌等にご紹介いただければ幸いに存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、シンポジウム終了後、別紙のお知らせの通り、功績者の表彰式と祝賀会を開催します。

第22回報農会シンポジウム

『植物保護ハイビジョン——2007』のご案内

— 環境に調和した植物防疫 —

趣 旨：我が国における植物防疫の発展を推進するため、植物防疫の学術・技術の研究、交流および普及を図る一環として、このシンポジウムを開催する。

主 催：財団法人 報 農 会

日 時：平成19年9月28日（金） 10:00～17:00

場 所：「北とびあ」 つつじホール （東京都北区王子1-11-1）
TEL 03-5390-1100（会場への連絡は出来ません）
JR 京浜東北線・地下鉄南北線：王子駅下車、徒歩2分（下図参照）

開 会：10:00～10:10 理事長挨拶 岩 本 毅

講 演：10:10～11:05 総合的病害虫・雑草管理（IPM）の取り組みと今後の展望
農林水産省植物防疫課 大岡 高行

11:10～12:05 ベトナムにおける植物防疫の取り組み
前茨城大学 永 田 徹

12:10～12:25 情報紹介：技術士（植物保護）制度について
前(株)農業・食品産業技術総合研究機構 稲 葉 忠 興

13:30～14:00 特別講演：生物活性物質の探索 — 化学で探る生物の世界 —
日本農学会会長 鈴 木 昭 憲

14:05～15:00 ポスト臭化メチル時代の土壌病害虫対策
(株)農業・食品産業技術総合研究機構野菜茶業研究所 西 和 文

15:05～16:00 GAPをめぐる課題（リンゴ輸出とGAP）
認定農業法人 片山リンゴ(株) 山 野 豊

16:10～16:45 総合討論

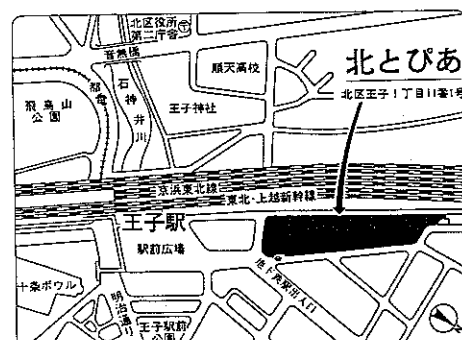
参加費：一般 5,000 円（当日参加 6,000 円） 学生 1,000 円

申込み：参加希望者は9月10日（月）までに下記口座へ参加費をお振込み下さい。前もってテキストと名札をお送り致します。なお、11日以降のお申込みも受け付けておりますので事務局までお問い合わせ下さい。

郵便振替 00100-5-103214

財団法人 報 農 会

連絡先：財団法人 報 農 会
事務局 塩澤宏康、渡辺敦子
〒187-0011 東京都小平市鈴木町2-772
植物防疫資料館内
TEL/FAX 042-381-5455



使用分野	種別	用途	数量						金額						比率											
			当月		累計		当年度		19年度		18年度		19年度		18年度		19年度		18年度		累計差		当月差		累計差	
			数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
水稻	殺虫剤	メチロキサロニル	303	119	2,294	1,335	78	43	426	593	184	39.3	-959	58.2	-35	55.1	-167	71.8								
		メチロキサロニル	100	75	854	666	49	178	1,152	1,189	-25	75.0	-198	77.1	129	363.3	37	103.2								
		メチロキサロニル	870	749	5,200	4,476	614	474	3,871	3,386	-121	86.1	-724	86.1	-140	77.2	-485	87.5								
		イネズミゾウ	172	136	1,506	1,176	163	153	1,785	1,612	-36	79.1	-330	78.1	-10	93.9	-174	90.3								
		その他	422	468	3,851	3,665	225	261	1,780	1,704	46	110.9	-186	95.2	36	116.0	-76	95.7								
		小計	1,867	1,547	13,715	11,319	1,129	1,109	9,182	8,316	-320	82.9	-2,396	82.5	-20	98.2	-866	90.6								
		殺菌剤	1,086	804	5,931	5,268	1,141	681	5,241	4,529	-282	74.0	-663	88.8	-460	59.7	-712	86.4								
		モカソ	77	48	582	556	60	50	494	450	-29	62.3	-26	96.5	-10	83.3	11	102.2								
		イネモカソ	61	24	407	401	91	97	370	370	0	39.3	-6	98.5	6	106.5	-61	85.8								
		その他	157	139	2,265	2,170	192	208	4,622	4,133	-18	88.5	-95	96.8	16	108.3	-489	89.4								
果樹	殺菌剤	イネモカソ	1,382	1,014	9,185	8,396	1,483	1,036	10,789	9,537	-368	73.4	-789	91.4	-447	69.9	-1,252	88.4								
		イネモカソ	913	874	12,478	10,635	1,062	1,081	21,340	19,013	-39	95.7	-1,843	85.2	19	101.8	-2,327	89.1								
		イネモカソ	79	83	519	458	43	101	315	377	4	105.1	-61	88.2	58	234.9	62	119.7								
		イネモカソ	332	435	4,861	4,401	374	503	5,085	6,021	103	131.0	-460	90.5	129	134.5	936	118.4								
		その他	0	0	12	0	0	0	7	0	0	-	-12	0.0	0	0	-7	0.0								
		小計	1,324	1,393	17,870	15,494	1,479	1,685	26,747	25,411	69	105.2	-2,376	86.7	206	113.9	-1,336	95.0								
		初期	257	320	4,760	4,824	344	385	5,756	5,720	63	124.5	64	101.3	41	111.9	-36	99.4								
		中期	609	699	5,336	4,759	481	535	4,217	3,988	90	114.8	-577	89.2	54	111.2	-229	94.6								
		後期	93	97	1,072	967	145	165	1,448	1,353	4	104.3	-105	90.2	20	113.8	-95	93.4								
		その他	1,140	1,339	16,716	15,866	2,375	2,786	35,747	35,410	199	117.5	-850	94.9	411	117.3	-337	99.1								
小計	2,322	2,770	30,100	28,784	3,620	4,309	50,505	50,415	448	119.3	-1,316	95.6	679	118.7	-90	99.8										
果樹	殺菌剤	イネモカソ	6,895	6,723	70,870	63,993	7,232	8,139	97,223	93,679	-172	97.5	-6,877	90.3	417	105.4	-3,544	96.4								
		イネモカソ	33	44	654	631	253	358	5,681	5,400	11	133.3	-23	96.5	105	141.5	-281	95.1								
		イネモカソ	166	145	6,019	5,804	45	43	1,449	1,536	-21	87.3	-215	96.4	-2	95.6	87	106.0								
		イネモカソ	193	198	2,622	2,484	824	934	12,221	12,463	5	102.6	-138	94.7	110	113.3	242	102.0								
		イネモカソ	392	387	9,295	8,919	1,122	1,335	19,352	19,400	-5	98.7	-376	96.0	213	119.0	48	100.2								
		イネモカソ	-2	0	1,094	1,095	0	0	116	116	0	0.0	1	100.1	0	0	0	100.0								
		イネモカソ	283	333	4,881	4,760	821	933	15,719	15,904	50	117.7	-121	97.5	112	113.6	185	101.2								
		イネモカソ	281	333	5,976	5,855	821	933	15,835	16,020	52	118.5	-121	98.0	112	113.6	185	101.2								
		イネモカソ	1	2	35	31	4	4	48	43	1	200.0	-4	88.6	0	100.0	-5	89.6								
		小計	257	297	3,190	3,166	485	611	5,994	6,252	40	115.6	-24	99.2	126	126.0	258	104.3								
野菜畑作	殺菌剤	イネモカソ	932	1,018	18,495	17,971	2,432	2,884	41,228	41,715	86	109.2	-524	97.2	452	118.6	487	101.2								
		イネモカソ	30	42	425	436	196	261	3,041	2,922	12	140.0	11	102.6	65	133.2	-119	96.1								
		イネモカソ	907	803	12,643	12,281	399	356	5,876	5,772	-104	88.5	-362	97.1	-43	89.2	-104	98.2								
		イネモカソ	2,454	2,234	21,601	18,665	2,659	2,940	28,708	29,800	-220	91.0	-2,936	86.4	281	110.6	1,092	103.8								
		イネモカソ	3,391	3,078	34,669	31,382	3,254	3,557	37,626	38,494	-313	90.8	-3,287	90.5	303	109.3	868	102.3								
		イネモカソ	699	556	9,417	9,244	648	806	7,853	10,300	-143	79.5	-173	98.2	158	124.4	2,447	131.2								
		イネモカソ	431	502	8,757	9,011	994	1,107	19,283	19,948	71	116.5	254	102.9	113	111.4	665	103.4								
		イネモカソ	1,130	1,059	18,174	18,255	1,642	1,914	27,136	30,247	-71	93.7	81	100.4	272	116.6	3,111	111.5								
		イネモカソ	136	115	490	406	78	75	412	341	-21	84.6	-84	82.9	-3	96.2	-71	82.8								
		小計	770	849	8,251	8,302	1,133	1,091	14,249	13,881	79	110.3	51	100.6	-42	96.3	-368	97.4								
その他	殺菌剤	イネモカソ	5,427	5,100	61,583	58,345	6,106	6,637	79,423	82,964	-327	94.0	-3,238	94.7	531	108.7	3,541	104.5								
		イネモカソ	443	324	3,107	1,869	803	645	4,433	3,692	-119	73.1	-1,238	60.2	-158	80.3	-741	83.3								
		イネモカソ	81	80	706	729	409	461	3,736	4,291	-1	98.8	23	103.3	52	112.7	555	114.9								
		イネモカソ	334	223	1,363	1,180	184	121	790	588	-111	66.8	-183	86.6	-63	65.8	-202	74.4								
		イネモカソ	1,126	1,094	7,813	7,854	1,927	1,229	12,840	12,636	-32	97.2	41	100.5	-698	63.8	-204	98.4								
		イネモカソ	1,984	1,721	12,988	11,632	3,323	2,456	21,799	21,207	-263	86.7	-1,356	89.6	-867	73.9	-592	97.3								
		イネモカソ	165	70	1,761	1,535	660	639	6,994	5,874	-95	42.4	-226	87.2	-21	96.8	-1,120	84.0								
		イネモカソ	0	0	28	27	0	0	28	27	0	0	-	-1	96.4	0	-	96.4								
		イネモカソ	338	402	3,437	3,219	212	141	1,892	1,295	64	118.9	-218	93.7	-71	66.5	-597	68.4								
		小計	3	2	12	11	4	4	782	472	-1	66.7	-1	91.7	0	100.0	-310	60.4								
分類なし	殺菌剤	イネモカソ	505	474	5,239	4,793	876	785	9,696	7,668	-31	93.9	-446	91.5	-91	89.6	-2,028	79.1								
		その他	15,742	15,037	169,176	156,734	20,459	20,900	249,369	247,233	-705	95.5	-12,442	92.6	441	102.2	-2,136	99.1								
合計																										

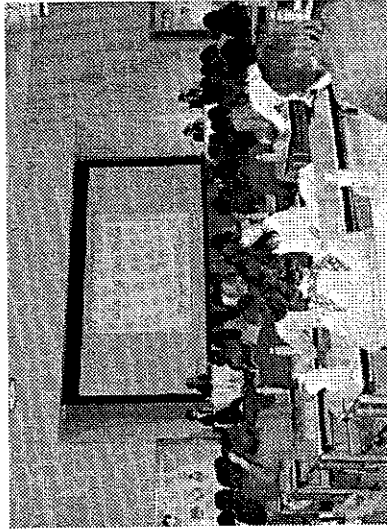
使用分野	種別	用途	数量			金額			比			概						
			当			計			教			量			金			
			18年度	19年度	18年度	19年度	18年度	19年度	18年度	19年度	18年度	19年度	18年度	19年度	18年度	19年度	18年度	19年度
水稲	殺虫剤	メチエン	409	220	2,703	1,555	68	687	494	-189	53.8	-1,148	57.5	72.3	-193	71.9		
		ワカ・ヨコハイ	188	108	1,051	774	235	219	1,386	-80	57.4	-277	73.6	93.2	22	101.6		
		メチエン/ワカヨコハイ	685	479	5,885	4,955	444	444	3,830	-206	69.9	-930	84.2	89.9	-535	87.7		
		体系ノブアキ	98	94	1,604	1,270	84	84	1,856	-4	95.9	-334	79.2	120.0	-160	91.4		
		その他	335	454	4,187	4,119	178	210	1,958	119	135.5	-68	98.4	32	118.0	-44	97.8	
	殺菌剤	イセ	1,413	1,354	15,429	12,673	1,070	1,025	10,252	-361	79.0	-2,756	82.1	95.8	-911	91.1		
		モカレ	132	140	735	697	196	141	680	647	106.1	-16	97.8	71.9	-43	93.8		
		イセモカレ	148	95	555	496	360	361	790	-63	64.2	-59	89.4	100.3	-59	92.5		
		その他	53	117	2,318	2,287	82	87	4,704	64	220.8	-31	98.7	5	106.1	-484	89.7	
		小計	1,746	1,213	10,931	9,609	1,920	1,629	12,709	-533	69.5	-1,322	87.9	84.8	-1,543	87.9		
除草剤	イセ+虫	イセ+虫	907	470	13,385	11,106	1,045	459	22,385	-437	51.8	-2,280	83.0	43.9	-2,914	87.0		
		モカレ+虫	180	164	699	622	182	147	497	523	91.1	-77	89.0	35	80.8	26	105.2	
		イセモカレ+虫	299	309	5,160	4,710	295	292	5,380	6,314	103.3	-450	91.3	99.0	934	117.4		
		その他	1	0	13	0	0	0	7	-1	0.0	-13	0.0	-	-7	0.0		
		小計	1,386	943	19,257	16,437	1,522	898	28,269	-443	68.0	-2,820	85.4	59.0	-1,960	93.1		
	果樹	殺虫剤	初期	-23	27	4,737	4,851	55	50	5,811	50	-117.4	114	102.4	-5	90.9	-40	99.3
			中期	769	892	6,105	5,651	720	893	4,937	4,881	123	116.0	-454	92.6	173	124.0	
			後期	267	315	1,339	1,281	306	371	1,754	1,724	48	118.0	-58	95.7	65	121.2	
			一発	594	561	17,310	16,426	947	848	36,695	36,258	-33	94.4	-884	94.9	-99	89.5	
			その他	220	278	2,435	2,646	293	537	3,629	4,481	58	126.4	211	108.7	244	183.3	
水稲	殺菌剤	イセ	1,827	2,072	31,927	30,856	6,834	6,252	52,827	53,931	-1,091	83.7	-7,968	89.7	-582	91.5		
		モカレ	6,673	5,582	77,543	69,575	6,834	6,252	104,057	99,931	-1,091	83.7	-7,968	89.7	-582	91.5		
		イセモカレ	42	46	696	677	336	364	6,017	5,765	4	109.5	-19	97.3	28	108.3		
		その他	212	221	6,230	6,024	58	65	1,507	1,602	9	104.2	-206	96.7	7	112.1		
		小計	218	212	2,840	2,696	916	1,046	13,137	13,609	-6	97.2	-144	94.9	130	114.2		
	果樹	殺菌剤	イセ	471	478	9,766	9,397	1,309	1,475	20,661	20,876	7	101.5	-369	96.2	166	112.7	
			モカレ	7	13	1,101	1,108	1	1	117	117	6	185.7	7	100.6	0	100.0	
			イセモカレ	327	288	5,208	5,048	839	791	16,558	16,695	-39	88.1	-160	96.9	48	94.3	
			その他	334	301	6,309	6,156	839	792	16,674	16,813	-33	90.1	-153	97.6	-47	94.4	
			小計	1	1	36	33	3	4	51	47	0	100.0	-3	91.7	1	133.3	
野菜畑作	殺菌剤	イセ	260	353	3,450	3,519	470	724	6,464	6,977	93	135.8	69	102.0	254	154.0		
		モカレ	1,066	1,134	19,561	19,104	2,622	2,996	43,860	44,712	68	106.4	-457	97.7	374	114.3		
		イセモカレ	37	41	461	477	250	276	3,292	3,198	4	110.8	16	103.5	26	110.4		
		その他	1,016	699	13,659	12,981	443	307	6,319	6,080	-317	68.8	-678	95.0	-136	69.3		
		小計	2,327	2,113	23,928	20,779	4,019	3,896	32,727	33,696	-214	90.8	-3,149	86.8	-123	96.9		
	果樹	殺菌剤	イセ	3,379	2,854	38,049	34,236	4,712	4,479	42,338	42,973	-525	84.5	-3,813	90.0	-233	95.1	
			モカレ	1,170	1,002	10,587	10,246	992	1,129	8,845	11,428	-168	85.6	-341	96.8	137	113.8	
			イセモカレ	427	455	9,184	9,465	1,067	1,106	20,350	21,053	-28	106.6	281	103.1	39	103.5	
			その他	1,597	1,457	19,771	19,711	2,059	2,234	29,195	32,482	-140	91.2	-60	99.7	175	108.5	
			小計	105	90	594	496	77	67	489	408	-15	85.7	-98	83.5	-10	87.0	
その他	殺菌剤	イセ	863	863	9,114	9,165	1,206	1,170	15,454	15,052	0	100.0	51	100.6	-36	97.0		
		モカレ	5,944	5,264	67,528	63,609	8,063	7,961	87,476	90,915	-680	88.6	-3,919	94.2	-102	98.7		
		イセモカレ	407	273	3,514	2,142	676	656	5,120	4,347	-134	67.1	-1,372	61.0	-20	97.0		
		その他	99	90	805	818	584	594	4,320	4,885	-9	90.9	13	101.6	10	101.7		
		小計	229	193	1,592	1,373	139	105	929	694	-36	84.3	-219	86.2	-34	75.5		
	果樹	殺菌剤	イセ	898	646	8,711	8,500	1,114	1,045	13,953	13,681	-252	71.9	-211	97.6	-69	93.8	
			モカレ	1,632	1,201	14,621	12,833	2,513	2,400	24,322	23,607	-431	73.6	-1,788	87.8	-113	95.5	
			イセモカレ	119	103	1,880	1,639	596	524	7,589	6,401	-16	86.6	-241	87.2	-72	87.9	
			その他	0	0	28	27	0	0	28	27	0	-	-1	96.4	0	-1	
			小計	293	316	3,730	3,535	181	142	2,073	1,437	23	107.8	-195	94.8	-39	78.5	
分類なし	殺菌剤	イセ	5	28	17	38	618	522	1,400	994	23	560.0	21	233.5	-96	84.5		
		モカレ	416	447	5,655	5,240	1,394	1,188	11,090	8,859	31	107.5	-415	92.7	-206	85.2		
		イセモカレ	15,732	13,627	184,908	170,361	21,417	20,787	270,795	268,023	-2,105	86.6	-14,547	92.1	-630	97.1		
		その他																
		小計																

参加費無料！ お母さんのための「農業ゼミ」

参加者には、新鮮野菜などをプレゼント！

農業工業会関西支部

<http://www.jcpa.or.jp/zemi/>



毎日食べる農作物と、密接なかかわりをもつものだから、正しい知識を身につけよう

10月4日(木)開講。参加者全員に新鮮野菜やクオカードをプレゼント！

日々の食卓に並ぶ野菜や果物に使われている「農薬について考えたことはありませんか？」

農薬の基礎知識を学ぶ、お母さんのためのやさしい「農業ゼミ」が10月4日(木)に開講されます。農薬の役割、人体や環境への影響、食の安全性の確保などについてわかりやすい解説とともに楽しく学びます。毎

日にするものだから、不安や疑問を解決しておいしい食生活を送りたいものです。当日は参加者全員に新鮮野菜やクオカード(500円分)をプレゼントします。

開催日 10月4日(木)午後1時30分～4時

会場 愛媛県民文化会館

定員 抽選で75組150人

〈募集要項〉

お母さんのためのやさしい「農業ゼミ」参加希望者は、干住所・氏名(同伴者の氏名も)・年齢・職業・連絡先(電話)を明記して、ハガキまたはホームページで申し込みを。あて先 〒108-0073 東京都港区三田3-1-9 大坂家ビル5階(株)インタラクティブ「農業ゼミ」事務局

締め切り 9月8日(土)＝消印有効

※当選者の発表は招待状の発送をもって代えられます。応募者の個人情報招待状発送のみに使用します

参加費 無料

内容 第一部「農薬とは何か」、第二部「農薬の安全性について」

出演 講師 千葉大学教授 農学博士・本山直樹さん(財)残留農薬研究所理事 農学博士・真板整さん。司会 フリーアナウンサー・松田朋恵さん

主催 農業工業会関西支部

問い合わせ インタラクティブ「農業ゼミ」事務局
TEL 03(3760)2551

ひまわり

ひまわり【向日葵】学名：Helianthus annuus L（ヘリアンサス・アヌス）、属名は「helios 太陽」＋「anthus 花」、種小名 annuus は「一年生の」で、一年生の太陽の花という意味です。

ひまわりはキク科の一年草で8～9月茎の先に黄色の大きな花をつけます。観賞用に栽培されるほか種は食用になり、油（サンフラワーオイル）もとれます。

文献によると、キク科は花の中でも最も進化したグループと言われ、ひまわりの大きな花は小さな花が集まってできています。外側の舌のような花（舌状花）は虫を引きつける飾りで、内側の筒のような花（管状花）は、雄しべと雌しべがあり、種を作ります。外側から中心に向かって順番に咲きます。ひまわりの語源は日廻り、つまり太陽を追って回る花という意味で、実際に若い茎や咲き始めの花は太陽を追って回ります。しかし、花がよく開いた後は動かなくなり、多くの花は東向きに咲きます。

茎は、太陽の光をより多く受け、より多くの養分を作るために太陽を追って回ります。光が当たらない部分では成長ホルモンの濃度が高くなり、光が当たる部分より早く成長するため、茎は光の方へ曲がります。これによって太陽を追う動きとなります。

ひまわりの原産地は、北アメリカ中・西部と言われ、原種のひまわりは背は高くなく、花も小型でした。古代インカ帝国では太陽の花と尊ばれ、石造りの神殿にはひまわりの花が彫られ、司祭や太陽神につかえる聖女たちは、金細工のひまわりを身につけていました。16世紀にコロンブスがアメリカ大陸を発見した後、1564～71年の間にスペインの医師ニコラス・モナルデスがスペイン王立植物園に持ち込み、ヨーロッパに広まりました。フランスのルイ14世は「太陽王」の名前の通り太陽の花ひまわりを好み、自分の紋章にしました。ベルサイユ宮殿の正門には今でもひまわりが植えられています。

日本にはヨーロッパから中国にもたらされたひまわりが、17世紀中頃に中国から伝来しました。当時は「丈菊（じょうぎく）」と呼ばれ、元禄時代（1688～1704）の頃にひまわりという名前が広まったと考えられています。

花言葉：崇拝、敬慕、愛慕、憧れ（あなたを見つめる、あなたはすばらしい） 高慢、光輝。（文責：宮坂）

